



## 新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

超高齢化時代となり、高齢者対策が色々な局面で重要になってきています。安倍総理大臣は一億総活躍社会と言われていますが、高齢者になるべく元気で活躍できる社会が望まれます。病院は病気を持った方を治療して、その人なりに自立できるようにすることが目標と考えています。「人は新しいことを始めることを忘れない限りいつまでも若い」とも言われます。当院は地域の病める方が、病気を克服して、あるいは病気を抱えながらも新しいことを始めることができるような治療・援助を提供していきたいと思っています。

当院の新しいこととしては、4月から松山圏域の2次救急輪番体制に参加して8日に1日は2次救

急を松山市内の病院と共同で受け持ちます。愛媛県の中では比較的医療機関が充実している松山圏域においても近年救急対応の医師減少と担当病院の疲弊が問題になっています。救急については地域の医療資源を最大限利用してなるべく多くの医療機関が協力、役割分担をして急患に対応しないといけない時代になってきています。当院としても国立時代からの医療をただ引き継ぐだけでなく、その時代で地域から求められることに応える病院として地域医療に貢献していきたいと考えています。

今年も愛媛医療センターを宜しくお願い申し上げます。

院長 岩田 猛

## 第34回 肢体不自由児・者の デジタル写真展



22病棟 白石禎志さん



受賞作「秋のコスモス」を  
手にする白石さん

「秋のコスモス」というタイトルで、一昨年、東温市見奈良のコスモス畑を見学に行ったときのものです。

当院に入院されている白石禎志（しらいしていじ）さんが、「第34回 肢体不自由児・者のデジタル写真展」にて銀賞を受賞されました。この写真展には、全国で活動しておられる肢体不自由児・者の方々から多数の応募があります。白石さんの作品は、この中から見事上位30点に入り、昨年12月には東京芸術劇場にて展示されました。作品は「秋

白石さんはカメラが好きで、4年ほど前から余暇活動で写真を撮っておられます。特に植物や風景を撮影されることが多く、自然豊かな当院をゆったりと散歩しながら活動されています。撮影するときには、ご家族が手作りされたカメラ台を使ってカメラを固定されています。手に力が入ってしまい思うように動かせず、ぶれてしまうことも多々ありますが、時間をかけて何度も撮り直し、よりよいものを選んでおられます。「肢体不自由児・者のデジタル写真展」には以前から応募されていましたが、残念ながら選外でした。そのたびに「来年こそは入賞する！」と意気込んで、励んでおられました。今回はその努力が実り、見事入選を果たすことができました。入選を知り、ご本人は顔を紅潮させて「ついに入選した」と言われ、職員共々喜び合いました。

受賞作品は、当院の中央廊下の一角（22病棟手前）に展示しておりますので、お越しの際はぜひご覧ください。  
児童指導員 寺田 恭子



スタッフも参加 ロコモ体操

東温市の医師会・歯科医師会・市役所・消防本部、中予保健所、愛媛県歯科技工士会、愛媛大学医学部附属病院、愛媛医療センター、そして協力者、参加者にとって10月4日は開催を祝うかのような秋晴れであった。中野実行委員長のリーダーシップのもと、異なる組織が一つになり、どうすれば参加してもらえるのか、参加した人達が満足してくれるのか、考え、力を出しきった結果は、もちろん大成功である。フォーラムも実行委員も初心者の私でさえ、わくわくドキドキしながら各企画を思いっきり楽しみ、リフレッシュすることができた。

『東温ジュニアハーモニー』のすんだ歌声で一気に期待が高まり、伊賀瀬先生の『片足で20秒立てますか』の特別講演は、慌ててこっそり片足で立ててみた。『いのとんとロコモ体操』では癒やされながらも、思うように動かない自分の体に呆然となっ

## 東温市健康フォーラム 2015

'15.10.4

た。『お口の体操』では女性におすすめときき、必死で学生さんたちのまねをした。『血管年齢』『食事バランスチェック』ではこんなもんだろうと自分に言い聞かせた。

当院担当の『駐車場係』『受付』『キッズコーナー』『アロマセラピー』『健康相談』の活動をのぞいて歩くと、23名（ボランティア）みんな一生懸命、そして笑顔で対応していて、うれしく、誇らしく感じた。他にも書ききれないほどのブースがあり、好評であった。来年もビックリポンの企画があるはず。ぜひみんなで参加して一緒に楽しみましょう。

副看護部長 大西 玉美



いのとんとつつしよ

# 地域の輪



## 訪問診療クリニック 六花

### 繋がる地域医療連携

当クリニックは、在宅訪問診療中心のクリニックとして平成27年7月に東温市牛淵に開業しました。院長は北海道小樽市で神経内科の在宅訪問診療クリニックに勤務後、平成19年から平成26年まで愛媛医療センター神経内科に勤務していました。

もう1人の神経内科医師と2人で24時間対応の訪問診療を行っています。



神経内科が診療する疾患は認知症から脳血管障害、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症（ALS）など幅広く、在宅療養が中心となる疾患が多くなっています。中には胃ろうやマスク式の呼吸補助装置（NPPV＝非侵襲的陽圧換気）、さらには気管切開や人工呼吸器を使用されている方もおり、そのような方も訪問診療を行っています。そのため1人あたりの診療時間をしっかりとる必要がありますので、訪問診療ができる方の数にどうしても制限がありますので、事前にご連絡いただければ幸いです。

院長はただでもサイズが大きいただでも目立つので、あまり目立たないようにひっそりと地道に、今後も地域の皆さんと共に確実にゆっくり歩いていける「スモール・ベースボール」のような診療を目指して職員一同頑張っ参りますので、これからも宜しくお願い致します。

施設名：訪問診療クリニック六花（ろっか）  
住所：東温市牛淵331-1  
電話：089-948-4677  
医師：橋本 司、寺崎 望



救急車が到着したら…

本番前のブリーフィング

平成27年11月14日(土)、東温市消防署前の河川敷にて東温市総合防災訓練が行われた。当院からは医師2名、看護師5名、看護学生5名が震災対応訓練の中の土砂災害対応訓練、高層建物火災対応訓練、交通事故対応訓練の医療者側として参加した。

土砂災害対応訓練では、地震により土砂に埋もれた家屋から救出された傷病者、高層建物火災対応訓練では、倒壊の恐れのある高層建物内の火災から救出された傷病者が救急車で当院に搬送され受け入れる対応をした。また交通事故対応訓練では、高速道路での多重事故から救出され、愛媛大学医学部DMATで1次トリアージを経た傷病者を受け入れる対応を行った。医師や看護師が処置に当たる中、私たち看護学生は傷病者のバイタルサインの測定と状態観察を行い、トリアージタグに記入した。また、軽症者を待機場所へ誘導したり、重症者に対しては看護師が行う処置の補助を行ったりした。

訓練は、医療、消防、県警機動隊、自主防災組織など様々な機関との連携が軸となっており、本番さ

## 看護学生は見た！ 東温市総合防災訓練 '15.11.14

ながらの緊迫した雰囲気の中で行われた。そのような中で、まだ医療の道を志して間もない私たち学生ができることは限られてはいたが、騒然とした大規模災害の中で医療者に求められる冷静かつ正確な判断と処置、多職種との連携の大切さを実感することができた。

近い将来起こるとされている南海地震をはじめ、様々な災害はいつ、どこで発生するかわからないため、今回の訓練の経験を活かし、傷病者に対して声を掛け、安全な場所に誘導し、より多くのいのちを救うための適切な行動がとれるよう努めたいと思う。

看護学校13期生 丹生谷 美緒



トリアージ

# 医心伝心

外科と緩和医療のおはなし

皆さん、明けましておめでとうございます。本年も皆さんが健やかに過ごせますよう、できるだけのお手伝いをさせていただきます。

さて、私はこの医心伝心への寄稿は初めてです。これまでの私の経歴などにも触れながら、外科と緩和医療についてお話ししてみたいと思います。

私はこれまで外科医として17年あまり色々な病院に勤務してきました。大きな病院もあれば、比較的小さな民間病院もありました。それらの病院でこれまで主に専門としてきたのが胃がん、大腸がんなどの消化管のがんでした。

研修医の頃は手術や術後管理に明け暮れ、手術で治っていく患者さんをみて嬉しい思いをした一方、手術後に残念ながら再発し亡くなっていく方や手術では治せない方に接して、悔しい思いもたくさんしてきました。

元々私には関わった患者さんを治るまで、或いは最期まで診たいという気持ちが強くあり、外科で手術するだけでなく、その後の抗がん剤治療やそれと並行して栄養療法や緩和医療を行っていきたいと思うようになりました。

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

前任地の大学病院でそういったことを勉強する機会を得、これからその知識と経験をこの病院で生かしていけたら、と思っています。

緩和医療というと、『もうできる治療がなくなった方への医療』というイメージをお持ちかも

しれません。しかし本来はそうではなくて、抗がん剤治療中の方の辛い症状の緩和や、積極的な栄養療法など、その方がその方らしく生きていくことをお手伝いするのが緩和医療だと考えています。

緩和医療の守備範囲は非常に広いので勉強も大変ですが、患者さんと一緒に考えて症状を緩和していくことにやりがいを感じています。お困りのことがあればお気軽にご相談ください。



外科 森本 真光

## 四季燦餐



～お鍋の巻～

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

「お雑煮」や「おせち料理」を楽しみながら、新年を迎えられる方もいらっしゃるのではないでしょうか。

近頃は「食材も季節感がなくなってきた。」と言われることもありますが、やはり、旬の食材は、栄養価も高く、何よりも市場に多く出回っている分、手に入りやすく安価であるという利点があります。

冬に食べたくなるメニューといえば、皆さんは何を思い浮かべられますか～？

「お鍋」という方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。寒い日には、定番メニューのお鍋ですが、その種類も水炊き、味噌鍋、しゃぶしゃぶなど食材や味付けによってバリエーションも広がります。

その中に入る食材といえば…。

あんこう、ふぐ、白菜、春菊など冬の代表的な食材があげられるかと思います。魚介類、肉類や豆腐などに季節の野菜やきのこ類も加えると、バランスよく色々な食材を一度に摂ることができます。

そして、お鍋を楽しんだ後は、シメにご飯を入れて雑炊もいいですね。チーズを加えれば、洋風のリゾットにもなり、いつもと違った味を楽しむこともできます。味付けも、醤油味や味噌味にしたり、うどんやラーメンなどの麺類を入れてみるのもいいですね。

寒い日には、「オリジナル鍋」で、あったまりませんか。



# 医療安全管理室 だより こんなことしています

## 虐待 No!



愛媛県の昨年度の虐待相談件数は、過去最多の896件でした。虐待防止に関しては、児童虐待防止法、高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法の三つの法律が制定されています。

虐待は、特定の人や家庭・場所に限らず、どこでも起こる可能性があります。虐待している人に、虐待をしている認識がない場合があります。虐待されている人が虐待だと認識できなくて、自分から被害を訴えられない場合があります。

虐待を防ぎ、解決するためには医療機関、施設の職員は勿論、地域に暮らすみなさんの意識が大切です。

当院でも、10月8日に全職員対象で「虐待&身体拘束について考えてみよう」のテーマで研修を

行いました。42名の参加があり、日々の医療や看護ケアについて、振り返りの良い機会となりました。また、提供する医療者と利用される患者・家族の皆さまとのコミュニケーションの重要性も再認識できました。

虐待には、身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、放棄・放任、経済的虐待があります。私達職員は、小さなサインを見逃さず、患者様の安心・安全な医療の提供に努めていますが、何かご心配やご意見があるときはお気軽に声をおかけください。情報は慎重に取り扱い、外部にもらすようなことはありません。委員会を開催し適切に対応する仕組みになっております。



## 超潜入 愛媛医療センター 東温高校インターンシップ

今年も11月4日～6日、東温高校2年生のインターンシップを受け入れました。看護に8名、栄養に3名、計11名（男子4名、女子7名）のフレッシュな皆さんが院内各部署でさまざまな経験ができるように企画しました。

看護ではOP室見学が例年大人気ですが今年も同様で、普段目にする事のない世界を目にして看護師になりたい思いを強くしている生徒さんもおられました。他にも各病棟で足浴や車椅子散歩で患者さんと触れ合いコミュニケーションの楽しさや難しさを感じることができたようでした。「看護師さんは患者さんとその時々合ったコミュニケーションが



盛り付け体験（栄養管理室）

とれてすごい。」と多くの生徒さんが感想を持っていました。栄養では「栄養指導や調理実習により病院の中での栄養士の役割を学べた。」とこちらも充実した3日間だったようです。

3日間という時間の中で多くの部署、病棟にご協力を頂きました。高校生の中には放射線技師や理学療法士志望の生徒さんもいて、実際の病院の中を見ることができて嬉しかったようです。次年度はより多くの部署で経験ができるような企画も考えたいと思っています。

このインターンシップで驚いたことは、高校生の皆さんがすでに将来の夢をしっかり持って、これからどんな準備をすればよいかなどとても現実的に考えていることでした。最終日には口々に「貴重な経験ができた。夢に向かってがんばりたい。」と言ってもらえました。このインターンシップで医療に興味を持ち、後に続いてくれる後輩が生まれてくれたら嬉しいと思った3日間でした。

教育担当看護師長 松田 真紀  
編集部注：脱稿は昨年11月です



指二本分ぐらいあけて...

血圧測定体験（3階病棟）

好評

## 参加型糖尿病教室

当院ではH23年から年に4回、糖尿病教室を開催しています。今年6月に初めて試みた「患者参加型教室」が参加者の皆さんに好評だったので、内容や感想をご紹介します！

今回は、1. 食事の取り組み（失敗したこと、成功したこと）2. 運動（今、どんな運動をしていますか？）3. 薬物（お薬の飲み忘れ、注射薬の打ち忘れはありますか？）という、3つのテーマのうち各自1つのグループに入っただき、テーマに沿って患者さん同士で日頃の療養生活の現状や工夫点などを自由に話し合ってもらいました。私たちスタッフも進行・アドバイス役として、皆さんといっしょに各グループに分かれて参加しました。



和やかな雰囲気グループディスカッション

参加された皆さんからは「皆さんの話を聞いて大変参考になった」「具体的な話が聞いてよかった」「新しい進行方法で勉強になった」「参加者同士の会話も弾んだ」「また企画してほしい」などのお声をいただきました。

私たちスタッフは、各職種が趣向を凝らし、より楽しくやる気の出るような教室づくりを目指しています。この他にも教室では相談会や以下のような内容を行っています。

1. 講義：その時期のトピックスや合併症などについて、院内外の講師からのお話です
2. ちょこっと運動：その場でできる運動を当院理学療法士の指導で一緒に行います
3. お楽しみデザート：毎回、当院栄養士の手作り低カロリーデザートをご用意しています

私たちと一緒に、糖尿病とうまく付き合うヒントを見つけに来てくださいね！

糖尿病チーム：糖尿病療養指導士 大崎 孝子



千クツとしますよ

血糖値測定

## ふれあい看護体験のお知らせ

平成28年度愛媛医療センターにて  
2016年7月27日(水) (予定) に  
「ふれあい看護体験」を行います。  
看護に少しでも興味がある方、  
参加してみませんか!!

白衣を着て  
看護体験!

車椅子体験  
などなど



お問い合わせ先

愛媛医療センター

〒791-0203 東温市横河原366

Tel 089-964-2411

※詳細は決定したいホームページに掲載予定です。

## 職員募集中



職 種：ナースアシスタント  
(非常勤)

勤務内容：病棟内の看護助手業務

給 与 等：時給860円

通勤手当・賞与あり

休 暇：有給休暇・無給休暇

福利厚生：社会保険 厚生年金 雇用保険

選考方法：書類・面接



お問い合わせ先：

愛媛医療センター

〒791-0203 東温市横河原366

Tel 089-964-2411 (代表)

担当者 管理課：庶務係長 (田中)

### 第14回 学校祭

LINK～人と人との和を育て～

10月31日(土)に「LINK～人と人との和を育て～」のテーマのもと、第14回学校祭を開催しました。今年度も多くの方が足を運んでくださり、無事盛況のうちに終えることができました。

今年度は、新たな試みで地域貢献の一環として、お世話になっている実習施設の方々へ就労支援施設で製作しているパンなどの販売をしていただき



ました。盛況のうちに販売予定時刻の前にはすべての商品が売り切れてしまいました。

また、近隣の保育園からはたくさんの園児が遊びにきてくれました。今年度は、今ゆるきゃらグランプリに向けて奮闘中の「みきゃん」にも参加してもらっていたので、園児達もみきゃんを見つけて大歓声をあげ、一緒に遊んでもらうことができました。学生が作成したバルーンアートをプレゼントし、楽しい時間を過ごしていただけたようです。

コンサートでは、愛媛大学のサークルによるアカペラ、1年生による合唱・吹奏楽を披露し、愛媛医療センターの患者様も音楽に合わせて身体を動かし、学生もともに楽しむことができました。今年で2度目となる患者様有志によるマジックも見事な腕前にお客様も釘付けでした。

学生・教員・病院スタッフ・患者様・実習施設や近隣の住民の方々とのまさに、「人と人との和を育む」ということを実感できる学校祭となり、たくさんの方々のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

学校祭実行委員長 第13期生(2年生)

森田 恵理子

編集部注：脱稿は11月中旬です

## ちよびとん言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

手元に一葉の写真がある。次男の学生生活最後の試合直後に、私が撮ったものだ。

四人の若者が、汗に濡れたアメリカンフットボールのユニフォームで、肩を組み合せて清々しい笑顔を見せている。

ワイドレシーバーの次男。クォーターバックのR君。ラインのT君とS君。

四年間打ち込んできた全てを出し切った満足感。稀に見る好試合で有終の美を飾った達成感。そして、引退を迎える一抹の寂しさ。そうした交々の感慨が引き出した笑顔だ。

初めは、十人を超えた新入部員も一人去り、二人減り：最後まで残ったこの四人は、仲間の背中をどんな気持ちで見送ったのだろう。

部員不足で、公式戦に出場できない時期もあった。さぞ歯がゆく悔しかったことだろう。

次男は腰を痛め、サイドラインから声を掛けることしかできないこともあった。怪我をした自分を不甲斐なく思っただろう。

四年間にあった悲喜交々を聞き知っているだけに、私も感慨深いものがある。こうして原稿を書いていても目頭が熱くなる。(親馬鹿とお笑ください)

アメフトが好きだから、仲間がいるから：頑張れたのだろうと思う。

一年生の頃は「とうさん、冷蔵庫みたいな奴が突進して来るんじゃないけん、恐いんで」と言っていたのに、いつの間にか、チームを牽引する一人に成長していた。

甲子園ボウルやライスボウルのような華やかな試合とは無縁の、地方リーグの弱小チームだが、青春を謳歌できた次男は幸せだと思っ。

そんな次男を支えてくれた良き先輩、良き仲間達に、心から感謝を捧げたい。そしてこの友情が、いつまでも続くことを願ってやまない。

今春、社会へ羽ばたく若鷲たちに幸多からんことを…

樹懶電



# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858  
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金
循環器内科	船田	岩田 泉 河野	岩田 泉 檜垣	岩田	船田
消化器内科	古田	山内(一)	久保 廣岡	山内(一)糖尿病専門 大藏	久保
呼吸器内科	阿部	伊東 邊	佐藤	阿部 大久保	伊東 中村
神経内科	小原	加藤		小原	戸井
外科	石丸				
消化器外科		鈴木	森本	渡部(隔週)	
呼吸器外科				澤田(偶数月) 末久(奇数月) 佐野(第4週)	湯汲
整形外科 午前のみ診療	横手 宮本	曾我部	横手 曾我部	宮本	宮本(第2・4) 曾我部(第1・3・5)
専門外来(予約制)	心臓外科外来			泉谷(隔週)	
	ペースメーカー外来			第2・4(午後)	
	糖尿病外来				古川(第2・4)
	フットケア外来			毎週	
	スキンケア外来		第1・3(午前)		
	ペインクリニック			山内(康)(午前)	
	じん肺外来				西村(第1・3)(午前)
	アスベスト外来		午後		午後
	息切れ外来	渡邊(13時30分~)			
	SAS外来				渡邊(14時~16時)
	神経難病			橋本	
小児(神経外来)	矢野		今井		
頭痛外来				永井(第2・4)(午前)	

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。  
 ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2016年1月1日現在

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

### 当院の位置と交通



#### 高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分  
(川内ICから当センターまで車で5分)

#### 交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分  
 または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分  
 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分  
 無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。